地域×水戸ホーリーホック ローカルSDGsマップ ver.2.0

問題
取組（案）

ひとが減るのに減らない仕事＆地域での役割
- 誰が考え、動くのか？
- 人と人を繋ぐ役割の人がいない
- 仕事はどこまで増えるのか・・・
- 働きすぎ

コミュニティの弱体化
- 県北芸術祭のリバイバルグレードアップ
- 横のつながりが弱化
- 年長者が、若年層にうまく譲れない
- 地域の役をみんなで分けることが大変
- 世代間の繋がりを持ちにくい
- 歩き・自転車で夜のピクニック

未来を描く力の欠如
- エリアや境界にこだわる ▹越境性に乏しい
- 地域の“変態”がポテンシャル発揮できない
- 地域らしさ・魅力が明確ではない
- 「地域資源の活用」を過剰意識 ▹柔軟な革命が起きにくい
- “ムーンショット”を描けない
- 課題の整理
- 企業が農業参入 ▹利益が出なくなる

地域内経済循環が成り立つか
- ゲーム時を利用してのPR
- 特産品のPR
- 食材に旅をさせないゲーム
- 食の移動をパスに見立てる
- スタジアムでフードドライブ食ロス対策
- MHHさらにオープン地域に入り込む
- 農産物の食品ロスが多すぎる
- 働ける場所が将来どれだけあるのか
- 農業が儲からない
- 生産者・企業と共に食育活動
- MHHをハブに農業体験→子供の居場所
- 世代を超えたメンバーで農業やキャンプ

農業が続かない可能性
- 企業が農業参入 ▹利益減少
- 価格のつけ方…続けるメリットがない
- 田んぼの水路誰が維持する？
- 農業について発信
- 業務の切り出し→雇用創出
- 農地集約されない
- 買える農作物の減少
- メガファーマー化 or 特化型の二分化
- 農的暮らしを広げる
- 新規就農進まない
- 農地と里山がソーラーパネル地化
- 野生生物の侵入

観光資源の維持困難
- 若者世代の流出
- 特産品が少ない
- 地産品の農作物を県内のキャンプ場で販売
- 物々交換
- 観光が地域ごとに分断されすぎている
- 観光と観光を繋げる
- 教育に対する意識が低下
- 観光やインバウンドに特化したサービスの強化

ひとりひとりの尊厳が守られる地域か
- 子育てしながら働ける場所 ヒアリング→可視化
- 子育てしながら働けるかわからない不安
- 「困った」を言い出しにくい地域社会
- 子育ての場としての魅力低下
- 空き家をリノベしてホーリーカフェ城里

子どもの権利を守れる地域か
- 不登校・ひきこもりの居場所が不十分
- 2030・2050、ワクワクできるか？
- キャンプ場で地域の方が活躍イベントなど
- 子どもの過ごしやすい場所 遊べる場所があるか
- 子どもの思い付きにとことん付き合う
- 自然栽培を基本にした家庭菜園の普及
- 言いたいこと叫びながらサッカーする日
- 少子化 ▹スポーツチーム維持困難

自分のまち、好きですか？

たてもの・施設の劣化
- インフラ劣化
- 補助金で建てた建物修繕に補助金おりない
- 学校施設劣化で使用できなくなる
- 空き家をリノベして活用したい人へ
- 空き家の増加
- 廃校利用が進まない
- 相続の限界
- インフラ用途変更
- 学校→福祉の事業所 荒地→キャンプ場

移動の自由の制限
- 公共交通がショボすぎる…
- 2050年常磐線の減数？
- 車に乗れなくなっても生きていけるのか

里山の荒廃
- 山の侵略、資源の枯渇
- 環境の変化に対して意識・知識が追いつかない
- 景観作物の植え付け（緑肥）
- 植樹活動
- 選手と植える

海洋環境の悪化
- 原体験を持たない人が増える影響
- 里山の荒廃が水産業へ影響
- 自然を生かしたチームビルディング グランピング、サバゲー
- 2050年海岸線の損失
- 海のクリーン活動を県内の子供と行う
- さくらダコがいなくなった